

令和4年度 ともそだち



令和4年5月25日大崎上島幼稚園No. 1

1回目4月28日(木)と2回目5月9日(月)に、講師の方による「大崎上島学」民話語り聞かせを行いました。今回のお話は、大崎上島町大串地区に伝わる「のおくり兵衛と運ヶ峰」のお話でした。

語り聞かせに、聞き入った子供たち！自分たちの住むふるさと大崎上島の民話にふれ、のおくり兵衛が見付けたキラキラ光る石ってどんな石なのだろう？と思いをめぐらし、2回目の語り聞かせでは、実際に現地に出かけ石探しをしました。

【のおくり兵衛と運ヶ峰】

大崎上島町 ふるさとの伝承より

昔むかし、原田の里に弥兵衛という一人の男が住んでいました。弥兵衛は、のおくり者(なまけ者)で、ろくに仕事もせず、毎日ぶらぶら過ごしていました。

村の人達は、こんなのおくり者は誰も相手にせず、弥兵衛のことを「のおくり兵衛」といって、本名の弥兵衛と呼ぶものはいませんでした。しかし、弥兵衛はいっこうに気にせず、平気で会う人ごとに、「今にわしには運が向いてくるんじゃ。」と言って相も変わらずぶらぶらしていました。

のおくり兵衛と言われる弥兵衛にも1つだけ取り柄がありました。それは、日頃から神峰山のよはかり様を大層信心しており、朝起きると、きまって神峰山に向かって礼拝をし、「わしに運を授けて下され」と、よはかり様をお願いしていました。

ある日の晩のことです。

寝ていたのおくり兵衛の枕元に神峰山のよはかり様がお立ちになり、「これや、弥兵衛。お前はろくに仕事もせず、毎日ぶらぶら遊んでばかりおって、運が向いてくることばかり、わしに願っておるが、それは大変な心得違いじゃ。運というものは、自分で一生懸命に働いてつかむもので、向こうからやってくるもんじゃない。しかし、お前の信心にめでて、一つだけ運をかなえてやる。お前の運が授かることを教えてやるので、明朝、日の出るとき、その場所に行ってみるがよい。その場所は、瀬井山の一番高いところじゃ。」とお告げになりました。次の朝、のおくり兵衛は夜が明けきらぬうちに家を出て、瀬井山に登り、原田側からみて一番高いと思われた場所で日の出る時に立って、あたりをみると、どうしたことか、別の場所が高いようにみえるので、そこに立ってみると、また別の場所が高いようにみえて、とうとう、探し当てることができない内に、陽が高くなってしまいました。

その次の朝は、昨日にこりて、原田側からみて、一番高いと思われるところを十分見極めて登ってみたが、やっぱり、昨日と同じように山に登ると、一番高い所がわからずじまいでした。

その次の日も同じことで、のおくり兵衛は、とうとう運の授かる一番高い所を探し当てることができませんでした。

しかし、のおくり兵衛は運の授かる一番高い所を探しているうちに、朝日を受けて、キラキラと光る美しい石を見つけては、拾って家に持って帰っていました。

ある日のこと、のおくり兵衛の家の前を通りかかった旅人が、このキラキラ光る美しい石を見て、「売ってくれ」といって、のおくり兵衛が今まで見たこともない程のお金を置いて石を持って帰ったのです。

その後も、のおくり兵衛は、石を拾って帰っては旅人に売っていました。

この話を村の人達が聞いて、この光る石を探しに瀬井山に登りましたが、毎日朝早く、のおくり兵衛が自分の運が授かる場所を探すために山に登り、この時、朝日を受けてキラキラ光るよい石ばかり拾って帰るので、村人が探しに登ったときには、光る石は見あたりませんでした。

このキラキラ光る美しい石のお陰で、のおくり兵衛は大金持ちになり、のちに「運ヶ峰の長者」といわれるようになり、いつしか村人達は、井浜山を「運ヶ峰・運ヶ見山」と呼ぶようになりました。

《木江中発》 未来に伝えたい 大崎上島の伝承 より

～ 1回目 民話語り聞かせ ～

お話を聞いた後、のおくり兵衛が登った運ヶ峰の写真を見せてもらいました。子供たちは、のおくり兵衛はどこを歩いたのかな？光る石はどこにあるのかな？といろいろなことを考えていたようです。



《振り返り》思ったこと。考えたことを話してみよう！

○のおくり兵衛の話が面白かったです。
年少児

○わたしは、光る石をみつけないと思いましたが。
年中児

○ぼくは、光る石をみつけに行きたいです。
年長児

～ 2回目 民話語り聞かせ ～
運ヶ峰の見える大串に行きました。

ここが運ヶ峰！
牛の背中に似ているといわ
れています。



運ヶ峰の写真と本当の山を比べてみる
と・・・

〇わあー 同じだね。牛の背中が似と
るー。ポコポコになっている所が似
てるよね。
★写真と本物の山をよく見比べている
つぶやきがたくさん聞かれました。



お話を聞いた後、光る石をみつけない！
と石探しが始まりました。

見つけた！
埋まっているから掘
ってみるよ。



お話を聞こう！

光る石をみつけよう！



キラキラ光る
石これかな？





見つけたよ！
キラキラ光っている
からこれだね。



《振り返り》思ったこと。考えたことを話してみよう！

○黒い石をいっぱい見つけました。年少児 ○こんな白い石を見付けてよかったです。年少児

○カメムシおった所に光る石があって、拾えて嬉しかったです。年少児

○探すのが嬉しかったです。年中児

○私は、黒い石もあったけど、白い石もあって嬉しかったです。年中児

○私は、白い石がいっぱい拾えて嬉しかったです。それで、お父さんとお母さんをびっくりさせたいです。年中児

○私は、いっぱいきらきらの白い石を見つけてお母さん達をびっくりさせたいです。年長児

○大きい光る石が見つけられてよかったです。年長児

○幼稚園に持って帰って、光る石か、普通の石か実験（本当にキラキラ光るのか洗う。）してみたいです。年長児

○本当の光る石か分からないから、家でよく見てみたいです。年長児

★お話を聞いて、『キラキラ光る石を見つきたい。』と思った年中児の1ちゃん。探しても見つからなかったため、そばにあった電柱をお話の中に出てくるお光さんに見立て、「どうか光る石が見つかりますように・・・」とお願いをする姿がありました。感じたこと、考えたことを表現する姿がとても素敵でした。